

第29号

J A長野厚生連 安曇総合病院

連携室だより

編集発行 地域医療連携課

発行日：2010/2/1
発行責任者 中川 真一

北安曇郡池田町大字池田3207番地1
直通電話：0261-61-1455
直通fax：0261-61-1456



【高瀬川に架かる橋その5：観音橋（大町市）】

新型インフルエンザは、輸入ワクチンが承認されるなどで接種希望者への安定供給が可能になりました。当院では、接種希望者や患者さんが減少傾向にあり「ちょっと一息」つけるようになりました。

★病薬連携懇話会について

薬剤師会の皆さまと、当院とのより良い連携推進を図ることを目的に「第2回安曇総合病院病薬連携懇話会」を下記により行ないます。大勢の関係皆さまの参加をお願いいたします。

- 開催日 平成22年2月23日（火）PM7：30 安曇総合病院外来棟2階会議室
- 内容 安曇総合病院の緩和ケアの実践報告
～医師・薬剤師・看護師・訪問看護の立場から～

連携登録医ルーインタビュー

今回は、栗田裕二先生（北安曇郡白馬村）を訪問しました。1月30日の白馬は幹線道路こそ雪はないものの、屋根には1メートル近くの積雪が見られました。（聞き手・地域医療連携課山崎）

英語

― 診療の後、お疲れのところお邪魔します。大勢患者さんがいらつしやいましたね。

栗田 今日は少し多かったですね。最近では胃腸炎が増えインフルエンザもまだ少し流行っています。

― やはり白馬は雪が多いですね。スキー客の患者さんも多いですか。

栗田 雪は年始にまとまって降り、多いかなど思っていました。今は平年ぐらいです。スキーでの患者さんは内科系が多いですが、外傷の方も一応診ます。最近はオーストラリアからスキ

― に来ていて受診する方が増え、コミュニケーションで苦労しており、もう少し英語を勉強しておけばよかったと反省しています。今は、必要な単語を並べて何とか疎通できるようにになりましたが、一人診察を終えると、どつと疲れます。（笑）

3兄弟

― 先生は2代目と聞いていますが、いつごろから医院を継ごうと思われれましたか。

栗田 男3人兄弟の真ん中で、上も下も医者になる気が無いようだったの、高校三年の三者懇談時に担任に相談したところ、とりあえず予備校を決めると言われてしまいました。

― 医者になってみていかがですか。ご苦労が多いと思われませんか。

栗田 総合臨床研修医制度というのがあって、板橋病院で2年間、外科・内科・小児・麻酔・産科など様々な科を研修しました。もう少し研修したいと思ったのですが、父に呼び戻され信大第一内科にお世話になることになり関連病院を勤務して、15年前からここで診療しています。昨年は父の13回忌でした。医者になったころは、自分には向いていないと思っていましたが、最近になってようやく「向いているのかな。」と思える時もあるようになりました。

3姉妹

― ストレスの解消や余暇の過ごし方はどうされていますか。

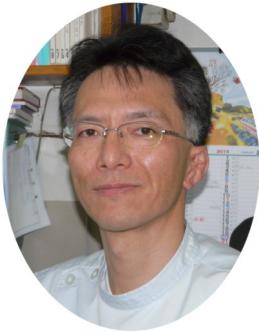
栗田 一晩寝るとストレスは取れますね。体も動かすようにして、夏はソフボール、冬は雪かきと子どもをつれてスキーをします。けがをするわけにいかないのをごぶ斜面は避けています。子どもは女の子3人で、妻と母との6人暮らしです。男は私だけでとてもにぎやかな家庭です。

信頼

― 最後に、先生は診療に対しどのように取り組まれていますか。

栗田 来た患者さんは、とにかく診るように間口を広くしています。病院などに任せなければいけないケースは紹介することになりますから、病院や診療所との信頼関係を作ることが大事だと思っています。

― 当院も信頼関係が良好になるように努めたいと思います。本日はありがとうございました。



栗田裕二先生プロフィール
昭和37年生
日大医卒
専門は内科

栗田医院 ご紹介

所在地：北安曇郡白馬村
北城5986
電話：0261-72-2428
電 標 榜：内科・小児科
外科・整形外科
診療日：月～土曜日
(月・木は午後
特老往診あり)

…病院行事から…

機能評価受審 (Ver.6)

1月19日、その日はやってきました。病院機能の第三者による評価受審の訪問調査です。今回、平成16年に取得した認定の更新（1回目）で「日本医療機能評価機構」が評価者です。審査項目などは見直し・改定が行なわれ、今回はVer.6についての評価受審となりました。間隔も5年あることから、谷川副院長を中心に作業部会を立ち上げ、準備をしてきました。サーベイヤー（調査員）は、医師・看護師・薬剤師・事務からなる7名が来院し、精神を含む7つの領域を分担し3日間かけての調査でした。



(開始前の職員集合)

1日目14時、顔合わせの後中川院長からの当院概要説明で始まりしました。続いて、書面審査です。事前に「自己評価票」を提出してあり、付随する資料を会場に準備してあるものを各サーベイヤーが調査し、質問をします。職場責任者や担当職員が応対しますが、相手は百戦錬磨の強者。答えに窮するような質問がどんどん飛び出し、説明に時間がかかるものは後回しにされ、矢継ぎ早に調査が進んでいきます。17時55分、予定通り1日目終了。早速ミーティングを開き、2日目の対応を確認しました。2日目9時、サーベイヤーと院長以下40名の職員による合同面接調査は、4つの領域について実施。サーベイヤーからの「現場で確認します。」の発言に緊張を覚えながら、面接会場を分割しての領域別面接に移り午前の部が終了。午後からはいよいよケアプロセス調査等の現場訪問が実施されました。3つのグループに分かれ院長・副院長・事務長が案内役を勤めました。5分程度から1時間以上の訪問を受けた部署もありましたが、17時45分に2日目終了。最終日は8時50分から、部署訪問の追加や書面審査の追加が行なわれました。サーベイヤーミーティングのあと予定時刻を繰り上げ全体講評となりました。機構から調査の協力に対するお礼と、各サーベイヤーからの感想がありましたが、4～6週間後の書面による中間報告を待つようにとのことでした。

この3日間は、病院全体に緊張感が漂いあらためて病院の機能を確認し、今後どうあるべきかを考える良い機会となりました。最後に、病診連携・病病連携を強化し、各医療機関の機能が十分発揮される地域医療の推進が大事だと感じました。中間報告を楽しみに待ちたいものです。

*当院の開催する行事のうち、院外の関係者や連携登録医の皆さんが参加可能な会につきましてはご案内をさせていただいてます。お時間・ご都合がございましたらご遠慮なくご参加ください。

新型インフルエンザについて

長野県病院協議会に報告している当院の状況調査の概要をお知らせします。
(期間は11月29日から1月2日まで。)

①インフルエンザ抗原検査実施数	309
②①の内「A+」の数	108
③インフルエンザ患者入院数	12
④簡易検査キット	充足
⑤抗インフルエンザ薬	タミフル [®] ライソップ [®] 不足

*1月9日、インフルエンザ定点届出数が3週連続で前週を下回ったことと、警報レベルが北信のみとなったことで調査は1月2日まで分で終了しました。

第29回安曇総合病院地域連携懇話会

1月28日に行われました、安曇総合病院地域連携懇話会運営委員会におきまして、下記のとおり開催することといたしました。ご都合お差し繰りのうえ、大勢の皆様のご参加をおねがいします。

記

- ★開催日時 平成22年3月12日（金）18時30分から
- ★場 所 安曇総合病院外来棟2階会議室
- ★内 容 ●講演「循環器疾患と歯科～抗血栓薬と感染性心内膜炎～」
講師 松本歯科大学障害者歯科学講座教授 小笠原 正先生
●ディスカッション
①合同カンファレンス（地域連携パス）
②その他・フリーディスカッション



29号の写真/現在の橋は、平成17年10月完成。以前の橋には幅60cm位のかまぼこ様の波型の欄干があり、そこを高校の山岳部員が歩いて渡るトレーニングをしていました。(2010.1)

●放射線カンファレンス（二水会）開催のお知らせ
3月10日（水）19：00から安曇総合病院外来棟3階健康管理室で行います。気になる症例などありましたらお持ちよりください。

患者さんのご紹介等診療情報に関するお問い合わせ・ご要望は地域医療連携課で承っています。

電話 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456
E-mail az-gyomu@janis.or.jp

受付時間 平日 8時30分～17時
土曜日 8時30分～12時30分（診療日に限る）